

### ■変化対応■ <「みる」という言葉がありますが、「みる」と言う漢字は非常に多くあります>

良く使うのは、目に足のついた「見る」ですね。さらに、視る、観る、診る、看る、察る、臨る、監る、覧る、もつと探りますと、回るや廻るも「みる」と読みますが、意味はそれぞれ違いますが良くみると頷けますね。見(み)方を柔軟にしていすることで、変化に対応しやすくなります

### ■変化■ <昨日と今日は違うことを是とし、今日も明日と違うことにしていけることは価値があります>

毎日同じことの繰り返しではなく、少しでも変化をさせていく意識を持つことで、命という価値ある時間を有効に活用できるようになります。毎日の小さな積み重ねが大きな変化をもたらします

### ■言い訳■ <出来る人は、言い訳をしないものです>

言い訳は、出来ない人ややらない人から出るものです。自分のせいにするのではなく、他人や規則、さらには外部環境のせいまでしてでも行動しようとしません。限りある命にそんなもったいない時間を費やすことはありません。言い訳の時間も惜しんで行動してみることです。やればわかることが一杯あります

### ■資源■ <「どこ」で「どう」戦い、勝っていくかを決めて経営資源を集中投入しましょう>

資源は有限ですが、使い方は無限に考えられます。しかし、その使い方企業の方向性は決まることが多いものです。自社の強みは何かをしっかりと見極めるように、いつも客観視して集中投入しましょう

### ■教育■ <教育することで、教育された人がまた人を教育していくことで、大きな競争力ができます>

この12年間にコンサルタントとして欧州を中心に教育をしていますが、最近この現象が顕著になってきました。教育には時間が掛かりますが、その力は大きな底力となってきたことがわかるようになってきました。ようやく教育が一番の投資になることが、自信を持って伝えられるようになりました

### ■勉強■ <予習、学習、復習と学びそして習うと、繰り返しながら頭にすり込んでいきます>

人の脳は忘れるように仕組みられています。そのために、強く勉めるようにと、予習、学習、復習と何度も繰り返しながら身にすり込んでいきます。努力しない限りは、突然頭が良くなったりすることはありません

### ■整理■ <書いてみることで、もやもやした思考をハッキリさせましょう>

頭の中では同じことが何度もぐるぐるまわってしまい、思考が定まらないことがあります。そこで、思考をハッキリさせるには、紙に書き込んでいくことです。書くことで思考の流れや形が見えてくるものです。2桁の割り算を暗算で出来ますか？紙に書くと簡単に解けますね。書きながら思考していくのです

### ■気楽に■ <まず肩の力を抜きましょう。そして深呼吸をしてみましょう。最初は気軽にやることです>

最初から結果を考えすぎると、人間は消極的になりやすいものです。そうすると心の壁が段々大きくなり、第一歩が踏み出しできなくなるものです。気楽になるために、少し体を動かしてみるとよいでしょう。まず小さな第一歩からです。持っているあなたの潜在能力をもっと発揮できるようになってきます

### ■上司■ <人として当り前のことを愚直に継続する人のことです>

組織の上に立つとつい部下を踏み台にして、さらに上に登ろうとする人が多くいます。さらに責任を押し付けて、成果は逆に取り上げている上司も目にしますが、人として恥かしいことです。人の上に立つ人は、尊敬されるような言動を取るべきだと思います。人として当り前のことをもっと考えてみたいものです

### ■部下■ <与えられ満足ではなく、自ら成長してそして他人に与えるくらいにしていきましょう>

いつまでも受身では成長は難しいものです。自ら求めて成長していく積極姿勢を持ち行動したいものです。自ら勝ち取った獲物は、実に美味しいものになります。それは心の充実があるからだと思えます

### ■自己実現■ <口先だけではなく、きちんと結果を出して成果を上げる人になることです>

そのためにもハッキリした目標を持って、コツコツと地道に行動し、考え抜くせをつけたいものです